

2019/01/30

ご案内
13th アジアデザイン文化学会国際研究発表大会
In 日本・浦安市
2019年12月7日(土)～8日(日)

2019年を迎えました。皆さまご健勝にお過ごしのことと存じます。
13th アジアデザイン文化学会国際研究発表大会は、
日本・浦安市において開催いたします。

大会名称 第13回アジアデザイン文化学会国際研究発表大会
第13届亚洲设计文化学会国际研究发表大会
時 期 2019年12月7日(土)～8日(日)
7日:国際研究発表大会 8日:エキスカージョン
会 場 浦安市 URAYASU CITY
(所在地:千葉県浦安市)
主 催 アジアデザイン文化学会

国際研究発表大会の開催に合わせて、冊子版ならびにCD版の
「ADCS 2019 研究発表大会概要集」
(ABSTRACTS OF ADCS 2019 INTERNATIONAL SYMPOSIUM)
を刊行します。

日ごろの研究・実践をまとめられた**研究発表概要**を、
別掲の趣旨をご賢察のうえ、奮ってご投稿ください。
また、浦安市における国際研究発表大会にご出席ください。
国際研究発表大会は、アジアの国々・地域に生きる私たちが、一堂に会し、
それぞれのデザイン文化に関する研究・実践を交歓し、
デザイン文化研究・実践の発展・充実を思考する貴重な機会です。

アジアデザイン文化学会
亜州設計文化学会
総会長 宮崎清

アジアデザイン文化学会 ADCS 概説

アジアデザイン文化学会（Asia Design Culture Society, ADCS）は、当時国立大学法人千葉大学理事・副学長であった宮崎清（現・千葉大学名誉教授）の呼びかけが機縁となり、2005年に創設されました。設立趣旨は、前頁をご覧ください。

以来、毎年異なる国・地域において国際シンポジウムを開催し、「デザイン文化」を核に据えた学术交流の場を設けてきました。その歩みは次のようです。2005年千葉大学における「ものづくり・ひとづくり国際シンポジウム」から始まり、2006年中国・江南大学「工業設計とデザイン文化国際シンポジウム」、2007年台湾・雲林科技大学「地方資源活用與地域振興国際シンポジウム」、2008年台湾・実践大学「文化創意産業発展新趨勢国際シンポジウム」、2009年韓国「デザイン文化の創造国際シンポジウム」、2010年中国・洛陽理工學院「アジアデザイン文化国際シンポジウム」、2012年日本・放送大学千葉学習センター「アジアデザイン文化学会の展望国際シンポジウム」、2013年台湾・高雄大学「アジアデザイン文化国際シンポジウム」、2014年日本・京都府伊根町「アジアデザイン文化国際シンポジウム」、2015年台湾・台北・銘傳大学「アジアデザイン文化国際シンポジウム」。そして、2016年には、中国の古都・南京に位置する南京林業大学にて、10th アジアデザイン文化学会国際シンポジウムを開催いたしました。2017年には、日本の沖縄県立芸術大学にて 11th 国際シンポジウムを開催しました。この大会は台風の到来に遭遇しましたが、風雨のなか国内外からお多くの方々の参加をいただき、無事に大会を終えることができました。2018年には、中国福建省に位置する華僑大学にて、これまで最大の700名の参加者を得て、12th 国際シンポジウムを開催いたしました。

これらの国際シンポジウムに対応して、冊子版ならびに CD 版の「アジアデザイン文化学会論文集」(BULLETIN OF ASIAN DESIGN CULTURE SOCIETY ISSUE)を No.1～No.12 発行してきました。

本学会は、中国、韓国、台湾、インドネシア、バングラディッシュ、日本など、アジアの諸国・諸地域に支部を有する国際的学術団体です。設立以来、地域の歴史・文化、地域振興、まちづくりなどを核とした数多くの学術研究ならびに実践の成果を公開し、検討を重ねてきました。

多くの皆さまから論文が寄せられ、活発なシンポジウムが展開されますことを、期待しております。

アジアデザイン文化学会

総会長 宮崎清

中国支部会長：張福昌

韓国支部会長：朴燦一

台湾支部会長：黄世輝

日本支部会長：宮崎清

インドネシア支部会長：deddy wahjudi

バングラディッシュ支部会長：masum iqbal

アジアデザイン文化学会ADCsのホームページURLは次です。

<https://asian-design-cultural-society.com/>

13thアジアデザイン文化学会国際研究発表大会 大会テーマ「デザイン文化の理念に基づく地域・生活文化の創生」 2019 研究発表概要 募集領域

13th アジアデザイン文化学会国際研究発表大会では、下記の三領域に関する研究発表概要を募集します。

1. グローバリゼーションのなかでの地域固有のデザイン文化の継承・発展・創生

アジアは、悠久な歴史、多様な民族が共存する地域です。北から南まで、東から西まで、異なる地理や気候風土のなかで育まれた地域の生活文化は、実に個性的で、実に多様です。それぞれに豊かな価値観が内包されている地域固有の生活文化は、アジアの各所に生き生きと息づいてきました。

しかし、今日、地球規模での情報化・高速流通が進展するなかで、積み重ねられてきた地域固有の生活文化に大きな変容が生起しています。急速に増幅するグローバリゼーションのなかでそれぞれの地域がそれぞれのアイデンティティを維持・継承・発展させていくのには、どうしたらよいのでしょうか。

【キーワード】 グローバリゼーション、固有文化、生活文化変容、生活文化史、生活スタイル、フィールド調査、デザインサーベイ、生活空間、生活工芸文化、伝統と革新など。

2. 真の豊かさに通じる持続可能な共生環境デザインの維持・継承・創生

環境保全・グリーン生活という概念の台頭は、産業革命以来歩んできた消費行為に対する反省から生まれた重要な指標です。豊富な物質環境に満たされた生活を追求するために、私たちは自然資源を大量に搾取し消費してきました。その大量消費は、計り知れないほど自然環境に対する負荷を増大させてきました。

豊かな物質生活が豊かな精神生活をもたらすという保証はありません。劣化した生活環境は、より深刻な精神負担を惹起します。私たちは「真の豊かさ」をどのようにして築いたらいいのでしょうか。

歴史を顧みれば、先人たちは「もったいない」「足りるだけでよい」「八割の満足」の概念に基づく数多くの実践例をこれまでの生活文化のなかに表出してくれています。共生環境の維持・継承・創出は、私たちに課された喫緊の課題です。

【キーワード】 グリーンデザイン、環境保全、資源循環、3R、一物全体活用、天人合一、豊かさの指標、維持可能、共生環境、もったいない、少物生活、儉約志向など。

3. 地域が育んできた有形・無形のデザイン文化資源の再評価と地域振興

それぞれの地域が育んできた有形・無形の資源を総点検・再評価することのなかから地域社会の新たな地平を切り拓いていく方法の探究と実践が必要です。

有形(物質的なもの)の根底には無形(価値観・世界観)があります。無形の具体的反映が有形です。地域を理解・把握する作業は、この有形と無形を関連づけて総合的に考察せねばなりません。

いずれの地域振興も、有形と無形との総合的考察によってはじめて可能となります。

【キーワード】 地域活性化、地域デザイン、地域連携デザイン、地域資源活用デザイン、社区營造、地域工芸、生活技術、標・サイン、文化遺産、創意デザイン、伝統的造形、休閒文化、文化観光、観光デザイン、サービスデザイン、景観デザインなど。

2019 研究発表大会 「研究発表概要」作成要項

様式:

添付の『論文・割付様式』を参照し、作成してください。

本文が中国語、韓国語、日本語、その他母国語の場合は、次のようです。

●データ形式：MS Word で作成

●A4 2 ページで作成

●余白:上下 25mm、左右 25mm

●組:1 段組み、1 行 47 字、45 行

●本文の書体：MS 明朝 10pt

●章・節の書体：MS ゴシック 10pt 太字

●章が変わる時は、1 行空ける

●ノンブルは、編集委員会で作成します。

●その他、『アジアデザイン文化研究執筆要領』に準拠して作成してください

本文が英語の場合は、添付の『論文・割付様式』を参照し、作成してください。

執筆に際しては、以上のほか、別紙の割付を参考にしてください。

执笔时，除了以上内容，
请参考另附的有文字间隔详细的模版

2019 研究発表大会 「研究発表概要」：投稿期日(期限厳守) 2019 年 10 月 5 日

研究発表概要登録用紙とともに、研究発表概要の完全版下(WORD)を、

次のアドレスにメールで申請してください。(期限厳守) 日付有効

1 人の研究代表者が研究代表者として投稿できる件数は、最大 3 件です。

全投稿者：総会長 宮崎清	E-mail : miyazaki.kiyosi@lapis.plala.or.jp
中国籍：中国支部会長 張福昌	wfczhang@126.com
：中国支部事務局長 刘俊哲	liureal@hotmail.com
韓国籍：韓国支部会長 朴燦一	culture@konkuk.ac.kr
台湾籍：台湾支部会長 黄世輝	hwangsh@yuntech.edu.tw
日本籍：日本支部会長 宮崎清	miyazaki.kiyosi@lapis.plala.or.jp
インドネシア籍：支部会長 デュディ	deddywahjudi@gmail.com
ヴンガラディッシュ籍：支部会長 マスミイクバル	masumiqbal@gmail.com
その他国籍者：総会長 宮崎清	miyazaki.kiyosi@lapis.plala.or.jp

2019 研究発表概要:投稿から掲載・発表までの流れ

2019 研究発表概要:投稿期日 (期限厳守)

2019年10月5日

研究発表概要登録用紙および研究発表概要完全版下(WORD)
所定様式に準拠して作成し、総会長および各支部会長・事務局長に提出



2019 研究発表概要:学会チェック

2019年10月5日～10月20日

研究概要趣旨・所定様式準拠有無など 不適合の場合:投稿代表者に連絡
修正研究発表概要 再投稿



2019 研究発表概要:受理連絡

学会から投稿代表者に

2019年10月20日～10月30日



2019 研究発表概要:発表プログラム・発表要領連絡

学会から投稿代表者に

2019年11月1日～11月15日

注意 !

上記日程に準拠・対応しなかった場合には、論文投稿の意思がないものとみなします。
上記日程を厳守願います。

研究発表 概要論文 題目 テーマ	和文・中文・ハングル・英文のいずれかで書いてください 副題をつける場合は、副題も書いてください
	英文
研究発表 概要論文 領域	該当する下記の論文募集領域番号をお書きください。 1. グローバリゼーションのなかでの地域固有のデザイン文化の継承・発展・創生 2. 真の豊かさに通じる持続可能な共生環境デザインの維持・継承・創生 3. 地域が育んできた有形・無形のデザイン文化資源の再評価と地域振興

アジアデザイン文化学会論文集第 13 号
BULLETIN OF ASIAN DESIGN CULTURE SOCIETY ISSUE NO.13
研究発表概要 登録用紙

この登録用紙は、**2019年10月5日（期限厳守）**までに、
研究発表概要完全版下(WORD)とともに
 総会長および各支部会長・事務局長宛に、メールでお送りください。
 ひとりの研究代表者が研究代表者として投稿できる件数は、最大3件までです。

氏名 : _____
 所属 : _____
 E-mail : _____

大会会場、大会日程、エキスカーション、参加費用、ホテルなどのご案内は、近日中に広報します。
 2019 ADCS URAYASU CONFERENCE Steering Committee
 2019 ADCS 浦安大会 運営委員会

2019/07/30